

概ね5年間(R4～R8)で実施する取組内容

資料—6

具体的な取組の柱		唐津市	玄海町	気象台	危機管理防災課	河川砂防課	ダム管理	唐津土木
事項	具体的な取組項目							
1. ハード対策								
■ 避難行動、水防活動、排水活動等に資する基盤等の整備								
①	円滑な避難に資するための避難所案内看板の設置							
②	住民にわかりやすく水位情報を示すための水位レベル表示（量水標）の設置							
③	住民にわかりやすく水位情報を示すための距離標の設置							
2. ソフト対策								
① 水防災意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進するための取組								
【水害リスク情報の共有】								
①	水害リスク情報を共有できるハザードマップへの改良と周知及び活用の推進	●	●					
②	水位周知河川以外の1級河川、2級河川を対象とした想定し得る最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図等の公表					●		
【防災意識の啓発】								
③	防災意識向上と迅速な避難に役立つマイ防災マップづくりと拡充	●	●					
④	防災意識向上と迅速な避難に役立つまるごとまちごとハザードマップ整備							
⑤	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大	●	●	●	●	●	●	●
⑥	あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実	●	●	●	●	●		
【リアルタイム防災情報の共有】								
⑦	防災気象情報の改善			●				
【避難勧告等の発令】								
⑧	避難に着目した簡易版タイムラインの作成	●	●		●	●		●
【住民等への防災情報の周知】								
⑨	防災情報総合サイトの活用と周知	●	●			●		
⑩	様々な防災情報提供ツールを用いた防災情報伝達の強化（多重化）	●	●		●	●		
【避難行動に繋がる訓練】								
⑪	避難に着目した簡易版タイムラインに基づく実践的な訓練	●	●		●			●
⑫	要配慮者利用施設等との避難訓練の促進	●	●		●	●		●
⑬	水害リスクが高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施		●		●		●	●
【河川巡視情報の共有】								
⑭	重要水防箇所共同点検	●	●					●
② 地域住民・市民団体・関係機関の連携・協働による地域の将来を担う人材の教育・発掘に向けた取組								
【避難場所や避難路の確保】								
①	浸水や土砂災害による途絶を考慮した避難経路や避難場所の確保に向けた連携・協働の取組	●	●		●			●
②	避難所・避難経路の安全性確認及び見直し	●	●					
③	浸水や土砂災害による途絶を考慮した基幹避難所等における備蓄の強化	●	●					
④	要配慮者利用施設等との避難訓練の促進（再掲）	●	●		●	●		●
【長期浸水リスクの周知】								
⑤	水防災教育、出前講座等を活用した講習会の取組の拡大（再掲）	●	●	●	●	●	●	●
⑥	あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実（再掲）	●	●	●	●	●		
【水防活動等】								
⑦	関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	●	●	●			●	●
⑧	自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成・強化、河川協力団体との連携	●	●		●			
③ 洪水被害軽減のための取組と既存施設運用の工夫等の取組								
【既存施設運用等】								
①	洪水被害軽減のための既存ダム洪水調節機能強化の取組						●	
【水防資機材等】								
②	水防資機材の保有状況の確認、見直し	●	●					●

凡例) ○：概ね5年で実施する取組  
●：令和8年度に実施予定の取組